

今回は、天才演出家デイヴィッド・マクヴィカーの《演出》にスポットを当てます！

## オペラ界で大注目！世界で喝采を浴び続ける

### デイヴィッド・マクヴィカーの演出を観ずして、現在のオペラは語れない！

メトロポリタン・オペラ、ロイヤル・オペラハウスなど名だたる歌劇場で演出を手掛け、現在のオペラシーンに欠かせない演出家が、デイヴィッド・マクヴィカーです。今回は、マクヴィカーの『ドン・カルロ』演出ノートにある、彼自身の言葉を公開し、その解説いたします。他では見られない、オペラファン必見の内容です！

#### 演出ノート① 「シラーの壮大で感動的な戯曲『ドン・カルロ』は、ヴェルディに最も刺激的な題材を与えた。」

このオペラは、原作であるシラーの戯曲で描かれた個人的・政治的自由をテーマにした人間のぶつかり合いのドラマに、ヴェルディが深く共鳴して、生み出されました。しかし、原作と異なる点も多く、オペラでは、戯曲よりドラマチックな結末を迎えます。

戯曲では、カルロは捕えられ愛も理想もかなわず、国家による圧迫が続き、非常に現実的な厳しい結末を迎えますが、オペラでは、カルロは捕えられる前に、カルロの祖父である前王の霊廟へ引きずり込まれ、幕を閉じます。



#### 演出ノート② 「ヴェルディの結末は、現実を超えて、サイエンスフィクションに近い場面を観客に見せる。」

このSF的な結末が、単にカルロの死を暗示するものなのか。何か神秘的な方法でカルロの肉体は生き延びるのか、肉体は滅びても、彼の理想や人間性のみ残り続けていることへの示唆なのか…演出の上で非常に重要なポイントになります。いったいこの結末にどんな意味があるか、皆様もぜひとも劇場でご覧ください！

#### 演出ノート③

「登場人物たちは魂の大きく不毛な砂漠の中で、必死で逃れるか、従順に従うしかない状況の中で生きている。」

カルロ達は、悲劇的な運命をたどります。容赦ないスペインの権力者により若く将来のある人生、そして理想や自由を奪われます。それによって、王国の平静が保たれるのです。この公演では、その逃げるか従うかしかない状況の中の彼らの生き様が徹底的に描かれます。3幕で国王フィリップが「王国が非常に平和だ」と語るのに対し、ロドリゴが「恐ろしい平和だ、墓場の平和だ！」と応じるシーンは極めて象徴的なシーンになるでしょう

### マクヴィカー演出により壮大に描き出される “人間ドラマ”を見逃すな！

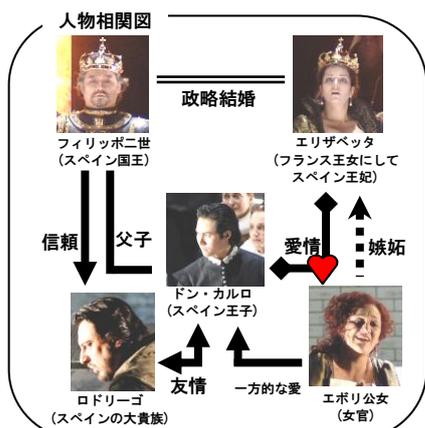


Photo by Monika Ritterhaus ※写真は今回の出演者と異なります。

#### 《『ドン・カルロ』あらすじ》

スペインの王子ドン・カルロの許嫁、フランスの女王エリザベッタは、政略結婚によってカルロの父であるフィリップ2世に王妃として迎えられる。絶望するカルロに対し、親友ロドリゴは「圧政に苦しむ民を救おうと立ち上がる」と彼を奮い立たせる。しかし、カルロは血気あまって王に向かって剣を抜いてしまった罪で捕まってしまう。一方、カルロを慕うエボリ公女は、ひょんなことでカルロの真心を知ってしまい、エリザベッタへの嫉妬を燃えあがらせ、彼女を陥れる。さらに、カルロを救おうとしたロドリゴは宗教裁判所長の刺客により殺害される。ロドリゴの身代わりによって解放されたカルロは、フランドルへ向かう前にエリザベッタに別れを告げる。そこへ国王と宗教裁判長が現れ、2人を逮捕しようとするが、前王カルロ5世の霊声が響き渡り、カルロは前王の霊廟に引き込まれていく。



#### 《デイヴィッド・マクヴィカー プロフィール》

スコットランド・グラスゴー出身。現在、彼のプロダクションはテレビやDVDと同じように世界中で観られており、世界の主要なオペラ演出家のひとりとして喝采されている。これまでの演出作品は、メトロポリタン・オペラにて『ジュリアス・シーザー』、ロイヤル・オペラハウスにて『フィガロの結婚』『ファウスト』『魔笛』『リゴレット』、グラインドボーン音楽祭にて『ニュルンベルクのマイスター・ジッター』『ラ・ボエーム』、マリンスキー歌劇場にて『マクベス』、フランクフルトにて『ドン・カルロ』、ザルツブルク・フェスティバルにて『ホフマン物語』など、枚挙にいとまがない。国内では、10年に新国立劇場『トリスタンとイゾルテ』が上演された。11年にライン国立オペラの「リング」上演に対して「Le Grand Prix de la Musique du Syndicat de la Critique」を受賞。また12年に Queen's Birthday honours list for Services to Opera として、ナイトの爵位を授与された。

イタリヤ語上演 5幕版(日本語字幕付)

指揮：ガブリエーレ・フェッロ 演出：デイヴィッド・マクヴィカー

〈19、22日の主な出演者〉

伊藤純、福井敬、成田博之、横山恵子、谷口睦美

〈20、23日の主な出演者〉

ジョン ハオ、山本耕平、上江隼人、安藤赴美子、清水華澄

合唱：二期会合唱団 管弦楽：東京都交響楽団

【公演日時】 2014年 2/19(水)18:30 ★20(木)14:00 22(土)13:00 23(日)13:00

【会場】 東京文化会館 大ホール

【料金】 S ¥18,000 A ¥14,000 B ¥10,000 C ¥8,000 D ¥6,000(僅少) 学生 ¥2,000

〈★平日マチネ特別料金(20日(木)14:00のみ)★〉

S ¥16,000 A ¥12,000 B ¥9,000 C ¥8,000 D 完売 学生 ¥2,000

※E席完売 ※学生席は、二期会チケットセンターのみ扱い (全席指定・税込)

※未就学児入場不可 ※やむを得ない事情により出演者が変更になる場合がございます。

ご予約 チケットスペース TEL:03-3234-9999 チケットスペースオンライン 検索 (パソコンのみ)  
お問合 二期会チケットセンター TEL:03-3796-1831 二期会チケット 検索